

<基となる事例>

「幼保小の円滑な接続に向けての取組」

【活用事例】 「幼小合同研修会」

事例活用の理由

「幼保小の架け橋プログラムの実施に向けての手引き（初版）」（2022 年、文科省）の中で、「半数以上の園が行事の交流等にとどまり、資質・能力をつなぐカリキュラムの編成・実施が行われていない」等、幼保小連携の課題があげられている。ここであげられている課題は、当園と近隣小学校との間においても直面している課題であると感じられた。

子供たちの資質・能力の育成のために、幼児教育と小学校教育の円滑な接続が求められる。そのため、従来行ってきた園児と児童との交流だけではなく、園児・児童の実態、教育内容や指導方法について相互理解を深める機会を設けることが学びの連続性を考える上で欠かすことができないと考え、県内の市町村が行った幼保小の円滑な接続に向けた合同研修会の事例を活用した。

研修主催者の願い（ねらい）

- 幼児教育担当は、幼児教育が小学校教育の教科教育にどのようなつながり、生かされているのかを理解する。
- 小学校教員は、幼児教育ではどのような活動（遊び）が行われ、そこでどのような育ちが見られるのかを理解する。
- 園と近隣小学校それぞれが互いの教育内容や指導方法について相互理解を深め、幼児教育と小学校教育が円滑に接続され、子供たちの資質・能力がよりよく育まれることを目指す。

アレンジした点・工夫した点

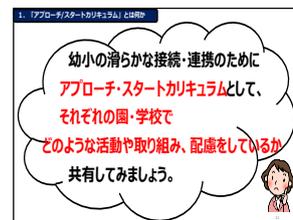
- 幼小合同研修会における学びや幼児教育担当者と小学校教員との関わりが、これからの幼小の円滑な接続に実際に生かせるよう、研修参加者は園職員と、近隣小学校の管理職と低学年教員とした。
- 千葉県総合教育センターにおける「幼児教育アドバイザー派遣」を活用して、2名の講師（幼児教育アドバイザー・小学校籍研究指導主事）を招聘した。
- 講話のテーマを「幼児期の終わりまでに育てたい姿」として、2名の立場の異なる講師（幼児教育アドバイザー・小学校籍研究指導主事）から、幼児や児童の育ちと学びのつながりの大切さが理解できる講話をしてもらえるよう依頼した。

これまでの経緯

- 園でバスをチャーターして年長児が学区の小学校に出向き、小学1年生との交流の場を設定した（「1年生に学校を案内してもらおう」「お店屋さんごっこ（生活科）への参加」など）。
- 地域への園児の作品展や保育公開の機会を設け、そこに小学校の先生方も招待した。

## 当日の様子

- 研修参加者は14名（幼児教育担当：8名・小学校教育担当：6名）
- 「幼児教育」について、幼児教育アドバイザーの講話から幼児教育の教育内容や指導方法、そして幼小連携の「キーワード」である遊びを通した総合的な指導から捉える「幼児期の終わりまでに育って欲しい姿」の10の姿について学んだ。
- 「幼児教育と小学校教育のつながり」について、小学校籍研究指導主事を講師に、「幼児教育と小学校教育の違い」「アプローチカリキュラムとスタートカリキュラム」「幼児教育における遊びと生活科学学習」について学んだ。小学校の教科学習の基盤に、幼児期における豊かな遊びや経験が重要であること等について理解を深めた。
- 講師の講話を踏まえて、園と小学校それぞれが行っている取組（アプローチ・スタートカリキュラム、夏の遊び・生活科学学習内容等）について情報交換をする。
- 園の「夏祭り」に向けた活動内容や取り組みの様子と、子供たちの育ちの様子について発表をして、小学校教員に当園における教育について理解を図った。
- 小グループで、園と小学校とで情報交換を行った。



## 基となる事例を活用しての成果

- 幼小合同研修会後にアンケートを実施した。
  - ・「研修は満足 of いくものでしたか。」の質問について、図1のような回答結果であった。研修は受講者全員にとって概ね「満足 of いく」ものであったことが分かる。
  - ・「研修はこれからに生かせるものでしたか。」の質問については、図2のような回答結果が得られた。受講者全員にとって、研修がこれからの教育に生かせるものであったと感じられるものであったことがうかがえる。
- 研修後の、研修受講者の感想は下記のとおりである。

### 〈幼児教育担当〉

- ・「今、やっている保育が小学校でも活かされていたり、似たような活動があったりすることが分かりました。今後も自信を持って継続したいと思いました。」
- ・「小学校の教育課程についても少し知ることができたので、今後見通しを持ちながら、幼稚園教育を進めていきたいと思ひます。」

### 〈小学校教育担当〉

- ・「『幼児期の終わりまでに育って欲しい姿』の視点をもって小学校の学習過程でも意識しながら進めていきたいと思ひました。」
- ・「幼稚園の先生と交流や情報交換ができて良かったです。幼稚園や小学校のことを、お互いに知ること、目の前の子供たちにできることが増えていくように感じました。」

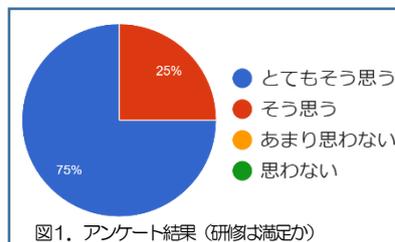


図1. アンケート結果 (研修は満足か)

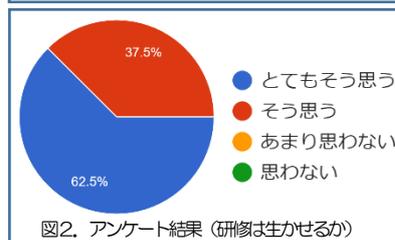


図2. アンケート結果 (研修は生かせるか)

